

セゾン文化財団「舞台芸術の広報・宣伝」研究会

舞台芸術の観客拡大において広報・宣伝の果たす役割は大きい。作品をより多くの、より多様な人々に届けるための、人々が作品に関心を抱き、作品を見たいくなる、劇場に足を運ぶように働きかける広報・宣伝にはどのような方法があるのだろうか。チラシ、ダイレクトメールといった従来の手法の必要性の有無、よりよい活かし方とは？インターネット、SNS等、デジタルツールの効果的な活用法は？

本研究会では、参加者間の討議を通じて、動員数の増加、観客層開拓のための広報・宣伝方法（販売促進、営業方法）を研究し、新たなアイデア、実践のための手法を考える。最終回には参加者それぞれが独自のプランを発表する。

検討された施策のうち優れたものについては実際に試行し、効果を評価したうえで、各地での普及につなげていくことを最終的な目標としている。

会期

2018年5月－9月 計5回、各回10：30－（2－3時間）

第1回：5月11日（金）

第2回：5月25日（金）

第3回：7月2日（月）

第4回：7月27日（金）

〈8月はお休み 各自プランを作成（予定）〉

第5回：9月28日（金）

会場

セゾン文化財団森下スタジオ 新館ラウンジ

（〒135-0004 東京都江東区森下3-5-6、都営新宿線、大江戸線「森下」A6出口5分、半蔵門線、大江戸線「清澄白河」A2出口徒歩10分）

<http://www.saison.or.jp/studio/access.html>

対象者 舞台芸術の広報・宣伝のための画期的なアイデアを考え、実践することに強い意欲を持つ舞台芸術関係者（定員15名程度・原則として全回参加できる方）

コーディネーター 冠那菜奈（アートメディアエーター、Tiarart.com代表）

1987年生まれ。武蔵野美術大学芸術文化学科卒業。様々なメディアを駆使し、ヒト・モノ・コトをより良い形でつないでいくアートメディアエーターとしてフリーランスで活動中。それぞれのニーズに合わせて企画やコーディネート、広報等を担当。広報を担当した主な活動として、F/T12、東京芸術祭2017などがある。

<http://www.tiarart.com>

参加費 無料

研究会内容

第1回：5月11日（金）

【自己紹介を兼ねたそれぞれの事例・課題の共有】

「広報・宣伝の基本」

講師：冠那菜奈

*終了後、会場で懇親会を行います。

第2回：5月25日（金）

「ウェブサイト、SNS を活用した広報・宣伝」

インターネットの活用法、ノウハウ、発信の際の注意点など

講師：熊井玲（ステージナタリー編集部 編集長）

2003年に演劇情報誌「シアターガイド」編集部員となり、2010年から2015年まで編集長を務める。2015年末に、ポップカルチャーのウェブメディア「ナタリー」を運営する株式会社ナターシャに入社。編集長としてステージナタリーの立ち上げに携わり、2016年2月にオープン。<http://natalie.mu/stage>

【グループワーク：2回のレクチャーを踏まえて、それぞれが抱える広報の問題点、改善策についてのディスカッション】

第3回：7月2日（月）

「広報・宣伝の効果測定」

ターゲットを設定し、ターゲットにその手法による広報・宣伝が届き、数値および数値以外の目的が達成できたか、その効果を測るための考え方、手法について

講師：高宮知数（（株）ファイブ・ミニッツ代表、東日本国際大学地域振興戦略研究所客員教授、立教大学社会デザイン研究所研究員、久留米市参与。）

広告代理店マーケティング局、商業劇場プロデューサーを経て独立。最近では神田淡路町ワテラス、久留米シティプラザ、鶴岡食文化情報発信市場 FOODEVER 等文化施設、再開発の立上げとマーケティングを手掛ける。

【グループワーク：参加者の各現場における広報・宣伝の効果測定についてのディスカッション】

第4回：7月27日（金）

「伝わる言葉を書くには？」

作品や活動が多くの人に伝わる文章を書くための発想、ノウハウ、注意点など

講師：島貫泰介（美術ライター／編集者）

1980 年生まれ。京都と東京を拠点に、美術、演劇、ポップカルチャーにかかわる執筆やインタビュー、編集を行う。主な仕事に『美術手帖 特集：言葉の力。』（2018 年 3 月）、『同誌 特集：あなたの知らないニューカマー・アーティスト 100』（2016 年 12 月）、「CINRA.NET」でのインタビュー取材など。

【グループワーク：参加者各現場からプレスリリースなどを持ち寄ってディスカッション】

*夏休みの宿題：各自広報・宣伝案を作成し、参加グループ（SNS）に提案。

第 5 回：9 月 28 日（金）

「参加者による新たな広報・宣伝案の発表」

ゲストコメンテーター：森隆一郎（アートやカルチャーで社会にクリエイティブな渚を生み出す「渚と」主宰、墨田区文化振興財団（業務委託）、東京シティ・バレエ団アドバイザー、文化の朝活 東京アーツのれん会主宰ほか）

アーツカウンシル東京 PR ディレクター、いわき芸術文化交流館アリオスマーケティングマネージャー、ティアラこうとう制作担当などを経て現職。

【森氏、冠氏からの参加者の広報・宣伝案へのコメント、ディスカッション】

申込 4 月 22 日（日）までに e-mail: workshop2018pr@saison.or.jp に下記内容をお送りください。申込多数の場合は、選考の後、参加の可否をお知らせいたします。

- 1) 氏名
- 2) 所属（劇場、劇団、制作会社、フェスティバル等）
- 3) 2) の所在・開催地
- 4) 電話番号（日中連絡がつくもの）
- 5) E-mail アドレス（添付ファイルが受け取れるアドレス）
- 6) これまでに実施した広報・宣伝方法、その成果、問題点
- 7) 今後実施したい広報・宣伝方法のアイデア（あれば具体的に）
- 8) いつも見ている・情報収集しているメディアを具体的に（雑誌、WEB…）